

連載：すうトレッチ (第 10 回)

「すうトレッチ」は今回で 10 回目を迎えます。高校生でも解けるような問題ですので、授業の合間に出題してはいかがでしょうか。

それでは問題です。

【問題 1】

「 $n^3 + 9$ と $(n+1)^3 + 9$ は互いに素か示せ。そうでなければ、そうでない最小の n を求めよ。」

これは、ちょっと面白い問題です。 n^3 と $(n+1)^3$ は、互いに素ですから、これらも一見すると互いに素であると考えられるかもしれません。でも、高校 1 年生の知識で解けるので是非考えてみてください。

次は、整数の問題です。

【問題 2】

「 a, b は正の整数とする。 a 以上 b 以下の整数を足すと 2020 になるような a と b の組のうち、 a が最も小さいものを求めよ。」

これも、考え方にちょっとした工夫が必要です。

次は漸化式の問題です。

【問題 3】

「 $a_1 = 1, a_2 = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}, a_{n+2} = a_{n+1} + a_n$ のとき、数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。」

普通に隣接 3 項間漸化式の解き方で解いてもよいですが、もっと簡単に解ける方法があります。実際に一般項がわかると「なあんだ！」とつぶやいてしまいそうな問題です。

たまには、ゆっくり図形を書いて考えてみるのもいいでしょう。

【問題 4】

「鋭角三角形 ABC について、頂点 B, C から対辺に下ろした垂線を BB_1, CC_1 とし、その交点を H とする。次に辺 BH, CH 上に $BB_2 = B_1H, CC_2 = C_1H$ となるように B_2, C_2 をとる。 $\triangle B_2HC_2$ の外接円と $\triangle ABC$ の外接円の交点を D, E とするとき、 $\angle DEH = 90^\circ$ であることを証明せよ。」

動的幾何ソフト (Geogebra など) で書いてみても面白いかもしれません。

最後は、以前に小中学生に出題した問題。

【問題 5】

「1000 以下の自然数で、正の約数を最も多く持つ数はいくつでしょう。」

コンピュータで計算することもできますが、論理的に考えていくことで答えが見えてきます。意味が分かってくれば、10000 以下でも数分で答えがわかります。

それでは解答です。

$$\begin{aligned} \xi\xi\xi &= \eta & \text{【1 題問】} \\ 0\gamma = \delta, 1\mathcal{E} = \nu & & \text{【2 題問】} \\ 1-\sigma \left(\frac{\xi\sqrt{\nu+1}}{\xi} \right) &= \sigma\nu & \text{【3 題問】} \\ \text{たまに J 審判員} & & \text{【4 題問】} \\ 0\pm 8 & & \text{【5 題問】} \end{aligned}$$

【編集委員会】